

2026年度

yamame to asobu プロジェクト活動報告書

Vol.02

守る。つなぐ。未来へ。



あなたの古着が、
魚を守る。

yamame to asobu project

00

目次 / 活動総括

CONTENTS

01

はじめに

02

活動総括

03

ヤマメ幼魚放流会

04

カワウ対策活動

05

ニジマス試験放流による効果検証

06

案山子10体体制へ

07

情報発信活動

08

プロジェクト紹介

09

今後の活動

10

ご協力をお願い

11

あとがき

約7kg

ヤマメ幼魚放流

2026. 04. 04

10kg

試験放流

ニジマス

10体

案山子体制

2エリア

4-6月

対象期間

2026年

2026年春から初夏にかけて、ヤマメ放流、カワウ対策、試験放流、情報発信を重ねながら、小菅川キャッチ&リリース区間の溪流魚資源を守る取り組みを進めました。皆さまの応援と情報提供が、現場の活動を支える大きな力になっています。

01

はじめに

「yamame to asobu」プロジェクトは、山梨県小菅村・多摩川源流部を流れる小菅川を舞台に、『人と川がつながるきっかけづくり』をテーマとして活動しています。

小菅村漁協公認リバーキーパーとして、小菅村漁協と連携しながら、ヤマメ放流活動、カワウ対策活動、環境保全活動、情報発信活動、地域交流活動を継続しております。

本報告書では、2026年4月から6月に実施した活動についてご報告いたします。



KEY MESSAGE

小さな一歩が未来を創る。活動の一つひとつを、次の世代へつなげる小菅川の未来へ。

02

活動総括

2026年春から初夏にかけて、プロジェクトではヤマメ放流活動とカワウ対策活動を中心に取り組みを進めてまいりました。

4月にはヤマメ幼魚放流会を開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。また、小菅川キャッチ&リリース区間では、案山子、黒テグス、キラキラテープ、監視活動による複合的なカワウ対策を継続し、6月には案山子10体体制となりました。

さらに、ニジマス試験放流による効果検証や情報収集活動も実施し、渓流魚資源保全に向けた取り組みを進めています。



KEY MESSAGE

皆さまからいただいた応援やご協力が、小菅川の未来を守る活動へとつながっています。

03

ヤマメ幼魚放流会

2026年4月4日、小菅川キャッチ&リリース区間にてヤマメ幼魚放流会を開催いたしました。

皆さまからいただいた寄付金とプロジェクトTシャツによる放流資金を活用し、ヤマメ幼魚（約5-10cm）約7kgを放流いたしました。

**放流活動について**

放流は、漁業法に基づき、第5種共同漁業権の免許を有する漁協によって行われるものです。本活動は、「yamame to asobu」が小菅村漁協公認リバーキーパーとして活動していることを前提に、放流実施時には、小菅村漁協の指導および役員立会いのもと、安全かつ適切に実施しております。

04

カワウ対策活動

小菅川キャッチ&リリース区間では、案山子、黒テグス、キラキラテープ、監視活動、情報収集活動を組み合わせた複合的なカワウ対策を実施しております。

2026年6月現在、金風呂河原エリアに5体、ほうれん坊下エリアに5体、合計10体の案山子を設置しました。

また、黒テグスの追加設置、キラキラテープの増設、定期的なメンテナンスを継続しています。

自然との共存を目指しながら、野生動物と溪流魚資源とのバランスを考えた取り組みを進めています。



KEY MESSAGE

単独の対策ではなく、人の気配、視覚的な揺らぎ、飛来ルートの遮断を組み合わせることが重要です。

04 カワウ対策と生態理解①

～ 小菅川における複合対策の考え方① ～



カワウ対策と生態理解

～ 小菅川における複合対策の考え方 ～



カワウの行動特性や捕食環境を理解し、黒テグス・キラキラテープ・案山子・人的活動を含めた複合対策について整理しました。

■ カワウは非常に視力の良い鳥

カワウは、水面付近の魚を発見する能力に優れた鳥です。飛行中でも魚の存在や、「魚が溜まりやすい場所」を把握していると考えられています。ただし、空から一尾ずつ細かく見ているというよりも、周囲の環境変化を総合的に判断しています。



■ カワウが飛行中に見ているもの

- ・ 魚影の動き
- ・ 水の色の変化
- ・ 浅場・淵・流れのヨレ
- ・ 群れの反射
- ・ 放流魚特有の動き
- ・ 他のカワウが潜っている場所



■ 放流直後の魚が狙われやすい理由

放流直後の魚は、

- ・ 群れやすい
- ・ 流れに馴染んでいない
- ・ 浅場に溜まりやすい
- ・ 動きが単調

という特徴があり、上空から発見されやすい傾向があります。



■ カワウが狙いやすい場所

【狙われやすい条件】

- ・ 水深30cm～1.5m程度
- ・ 流れが緩い
- ・ 魚が群れている
- ・ 見通しが良い
- ・ 障害物が少ない
- ・ 白泡が少ない

特に、

- ・ プール
- ・ トロ場
- ・ 放流直後の溜まり

は注意が必要です。



■ カワウが嫌う場所

- ・ 強い瀬
- ・ 白泡の多い場所
- ・ 岩が複雑に入る場所
- ・ 倒木やえぐれが多い場所
- ・ 極端に深い場所
- ・ 流速変化が激しい場所

理由としては、

- ・ 水中視界が悪くなる
 - ・ 魚を追い切れない
 - ・ 羽を傷める危険がある
 - ・ 潜水効率が落ちる
- ためと考えられています。



■ 黒テグスが効果的と考えられる理由

カワウは視力が良い反面、細く見えにくいラインへの接触を嫌う傾向があります。特に黒テグスは、

- ・ 背景に溶け込みやすい
- ・ 水面反射で見えづらい
- ・ 飛行ルートを遮断できる

といった特徴があり、「ここは危険かもしれない」という学習効果を与えやすいと考えられています。



■ キラキラテープと案山子の役割

キラキラテープは、視覚的な違和感や落ち着かない空間を作る役割があります。

また、案山子は「人の存在」を演出する効果が期待できます。



■ 小菅村漁協による監視・追い払いの重要性

小菅村漁協による見回りやバトロール、追い払い活動も重要な対策の一つです。

定期的な人的プレッシャーを与えることで、カワウに「この場所は安全ではない」という学習効果を与えることにつながります。

特に早期や夕方など、カワウの行動時間帯に合わせた監視活動は抑止力として効果が期待されています。



■ つり人の存在による抑止効果

つり人が川に入ること自体も、カワウへの抑止効果につながります。

人の動きや気配が継続的にある場所では、カワウは警戒しやすくなります。

特に小菅川のようなフィールドでは、「多くの人に川へ来てもらい、自然を楽しんでもらうこと」そのものが、結果として魚を守ることにもつながっています。



■ 小菅川における複合対策の考え方

黒テグス

= 侵入阻止



キラキラテープ

= 警戒心増加



案山子

= 人の存在演出



漁協の監視・追い払い

= 学習効果の強化



つり人の存在

= 継続的な人的プレッシャー



これらを組み合わせることで、単独対策よりも高い効果が期待できます。

特に小菅川のような「開けたプール+放流魚」が存在する環境では、複合対策の意味は非常に大きいと考えられます。



yamame to asobu

小さな一歩が未来を創る

04 カワウ対策と生態理解②

～ 小菅川における複合対策の考え方②～

カワウ対策と生態理解

～ 小菅川における複合対策の考え方②～



カワウの飛来増加を確認しています

小菅川C&R区間では、監視活動やつり人の皆さまからの情報により、カワウの飛来が増加していることを確認しています。特に、上流側から金風呂河原周辺へ向かって、**低空飛行する**個体が一日に複数目撃されています。



なぜ今、飛来が増えるのか？

春から初夏にかけては、カワウのヒナが成長する時期と重なり、親鳥はエサを巣に運ぶために**効率の良い採餌場所を繰り返し**利用する傾向があります。



この時期は
ヒナの成長期！
親鳥の採餌活動が
活発になります

小菅川では「複合対策」を継続しています

案山子



人的プレッシャーを
視覚的に与えます

×

黒テグス



低空飛行を妨げ、
侵入を抑制します

×

キラキラテープ



光の反射で警戒心を
高め、飛来を抑制します

×

監視活動



状況を把握し、
対策の精度を高めます

×

情報収集



つり人の皆さまの
情報が大きな力に！



設置箇所にはご注意ください

釣行時にご不便をおかけする場所もございます。
ご理解とご協力をいただきながら、
安全に釣りを楽しくください。



皆さまからの情報をお待ちしています！

- ✓ カワウの目撃情報
- ✓ 魚影の状況
- ✓ 釣果情報 など

DMやコメントで
ぜひお知らせ
ください！



小さな一歩が、**未来の小菅川**を創る。

自然との共存を目指しながら、
渓流魚資源を守るための取り組みです。



ニジマス試験放流による効果検証

2026年5月17日、ほうれん坊下エリアにてカワウ対策効果の確認を目的とした試験放流を実施しました。

放流したニジマスは計10kgです。内訳は、プロジェクトTシャツ販売による放流資金5kg、小菅村漁協ご協力による放流5kgとなります。

近年、このエリアではニジマス放流は行われていませんでしたが、今回はあくまでカワウ対策効果確認のための試験放流です。

今後も魚の残存状況やカワウの動向を確認しながら、効果検証を進めてまいります。



釣果報告募集！
小菅川キャッチ&リリース区間

ほうれん坊下エリア 釣果報告募集

現在、このエリアで釣りをされた皆さまから、たくさんの貴重な情報をいただいております。心より感謝申し上げます。
昨日は実際に「黒テグス対策の効果」を目撃された方々からとても貴重なご報告をいただきました。

カワウ対策を実施中！
 罾山子 黒テグス キラキラテープ 監視活動 カワウ対策継続中！
 効果を検証しながら継続中です！

ご報告いただける内容
 釣れた場所 魚種 尾数 など
 その他お気づきなことなど、どんなことでもOK！

皆さまに実際に釣りをいただくこと自体が、カワウ対策としての抑止力にもつながっています。小さな情報の積み重ねが、未来の小菅川につながります。ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

現地には、黒テグス・キラキラテープ等が設置されております。釣行の際は周囲をご確認いただき、仕掛け等を引っ掛けないよう十分ご注意ください。

KEY MESSAGE

放流後の釣果情報、魚影情報、カワウ飛来情報が、次の判断材料になります。

06

案山子10体体制へ

2026年6月6日、ほうれん坊下エリアへ新たに案山子1体を追加設置しました。

これにより、金風呂河原エリア5体、ほうれん坊下エリア5体、合計10体の案山子体制となりました。

設置後には黒テグスやキラキラテープのメンテナンスも実施しました。各淵では魚影も確認され、尺クラスのヤマメの姿も確認されています。

これまで続けてきた案山子・黒テグス・キラキラテープ・監視活動による複合対策の成果が、少しずつ形として現れ始めています。



KEY MESSAGE

川を見守る頼もしい仲間たち。10体体制は、継続的な保全活動の象徴でもあります。

06

案山子10体体制

KOSUGEGAWA C&R

小菅川 C&R 区間に 案山子10体 設置しました。

川を見守る頼もしい仲間たちです！



📍 小菅川 C&R 区間
(山梨県小菅村)

これからも **自然と渓流魚** を
守っていきましょう！

自然を楽しむ、心をつなぐ。
yamame to asobu project

#小菅川キャッチアンドリリース区間 #川を守る活動 #こすげジェニック #yamametoasobu #小さな一歩が未来を創る

小菅川C&R区間に、案山子10体を設置しました。これからも自然と渓流魚を守っていきましょう。

情報発信活動

Instagramを中心に、活動報告、放流会案内、カワウ対策報告、小菅川の魅力発信を継続しています。

また、つり人の皆さまから寄せられる釣果情報、魚影情報、カワウ飛来情報も活動を進めるうえで重要な情報源となっています。

皆さまから寄せられる現場の情報は、今後の対策や効果検証において大きな力となっています。



釣果報告募集！
小菅川キャッチ&リリース区間
ほうれん坊下エリア
釣果報告募集

小さな一歩が、未来の小菅川を守る力になります。

現在、このエリアで釣りをされた皆さまから、たくさんの貴重な情報をいただいております。心より感謝申し上げます。
昨日は実際に「黒テグス対策の効果」を目撃されたつり人の方からとても貴重なご報告をいただきました。

カワウ対策を実施中！	ご報告いただける内容
 黒山子  黒テグス  キラキラテープ  監視活動  カワウ対策継続中！	 釣れた場所  魚種  尾数など

効果を検証しながら継続中です！

ご協力いただける方はDMまたはコメントでご連絡ください！

皆さまに実際に釣りをいただくこと自体が、カワウ対策としての抑止力にもつながっています。小さな情報の積み重ねが、未来の小菅川につながります。ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

現地には、黒テグス・キラキラテープ等が設置されております。釣行の際は周囲をご確認いただき、仕掛け等を引っ掛けないよう十分ご注意ください。

KEY MESSAGE

小さな情報の積み重ねが、未来の小菅川を守る判断につながります。

プロジェクト紹介

yamame to asobu with 里山デザイン

小菅川の原風景を、100年先の未来へつなぐコラボTシャツ。

■ プロジェクトについて

私たちの原点、多摩源流・小菅川。
小菅村在住「里山デザイン」と「yamame to asobu」が想いを込めて制作した、特別なコラボレーションTシャツです。
収益の一部は、小菅村漁協を通じてヤマメの放流資金として活用されます。



あなたの一枚が、未来の小菅川を泳ぐ一匹の命になります。

愛してやまない小菅川の原風景を、100年先の未来へつなぐために。

■ 仕様

- ・ 5.6oz ハイクオリティーTシャツ
- ・ United Athle 5001-01

■ プリント仕様

シルクスクリーンプリントで、一点一点丁寧に仕上げています。
着込むほどに風合いが増し、自分だけの一枚へ育っていきます。

KEY MESSAGE 身につける応援が、川へ還る。

09

今後の活動

今後も小菅村漁協との連携のもと、ヤマメ放流活動、カワウ対策活動、環境保全活動、情報発信活動、地域交流活動を継続してまいります。

また、2026年7月5日に開催される「第25回 大地の恵みまつり」へ、小菅村漁協 × yamame to asobuとして共同出店を予定しております。

第25回 大地の恵みまつり 当日のご案内

- 当日は yamame to asobu プロジェクトTシャツの直売会を行います。
 - あわせて、案山子用衣類（古着）の回収も行っています。
 - 大変不足しておりますので、お持ちいただけると大変ありがたいです。
- どうぞよろしくお願いいたします。



多くの方に小菅川の魅力や活動を知っていただき、未来の小菅川につながる仲間の輪を広げていきたいと考えています。

KEY MESSAGE

次の活動へ。小菅川を知る人、楽しむ人、守る人の輪を広げていきます。

ご協力をお願い

小菅川C&R区間に
案山子9体を
設置しました。

カワウ対策として、
渓流魚を守るための取り組みです。

案山子は「生きている存在」として、
定期的な着せ替え(メンテナンス)が必要です。

そこで現在、カワウから渓流魚を守るための
「案山子」の衣類(古着)を募集しています。

回収アイテム

- アウトドアウェア
- レインジャケット
- ベスト
- ウェーダー
- ウェーディングシューズ
- 帽子

※穴あき・故障品でもOKです!

さらに今回は、メーカー様・企業様からの
ご協力も募集しております。

● サンプル品 ● 旧モデル商品 ● プロモーション用衣類 など

案山子を通じてフィールドで自然に発信される形になります。

小さな一歩が、
未来の小菅川を
守る力になります。

ご協力いただける方は
DMにてご連絡ください。

#小菅川キャッチアンドリリース区間 #川を守る活動 #yamametoasobuプロジェクト #小さな一歩が未来を創る

プロジェクトTシャツによる放流資金募集

現在、次の放流に向けた活動を進めています。皆さまからいただいた応援は、ヤマメを中心に、その時々
の状況に応じてイワナやニジマスなど、小菅川の未
来につながる渓流魚の放流資金として活用させてい
たします。

案山子用衣類(古着)募集

現在、案山子の増設およびメンテナンスに伴い、案
山子用衣類が不足しております。破れや傷みがある
ものでも大歓迎です。

レインウェア

ベスト

ウェーダー

ウェーディングシューズ

帽子

長袖シャツ



皆さまのご協力が、小菅川の魚たちを守る大きな力になります。

あしがき

皆さまからいただいた応援、寄付、情報提供、プロジェクトTシャツのご購入、案山子用衣類のご提供。その一つひとつが、未来の小菅川につながっています。

本活動は、小菅村漁協をはじめ、地域の皆さま、つり人の皆さま、そして活動に共感しご協力いただいた多くの皆さまによって支えられています。心より感謝申し上げます。

私たちの活動はまだ小さな一歩かもしれません。しかし、その一歩が積み重なることで、未来の小菅川を守る大きな力になると信じています。

これからも、ヤマメが生きる川。人と自然がつながる川。その豊かな未来を次の世代へつないでいくため、一歩ずつ活動を続けてまいります。

2026年6月

yamame to asobu



KEY MESSAGE

小さな一歩が未来を創る。

yamame to asobu project

2026 活動報告書 Vol.02

ヤマメが生きる川。
人と自然がつながる川。

その豊かな未来を、次の世代へ。

小菅村漁協公認リバーキーパー

yamame to asobu

